

仙台二華の 国際バカロレア

2021年4月からの導入をめざしています。

● 国際バカロレア(IB)とは

国際バカロレア (IB : International Baccalaureate) は、1960 年代にスイスで開発された教育プログラムです。元々は、世界各国の外交官や国際機関職員などの家庭の子供たちがインターナショナルスクールを卒業した後、母国の大学に進学するための入学資格を付与する目的で開発されました。教育制度の異なる国々において同等に受け入れられる必要がありますので、一つの国の制度や内容に偏ることのない、世界標準の教育プログラムとして発達したと言えます。

文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム事務局「国際バカロレア認定のための手引き」より

IB の目的は、以下に挙げる IB の意欲的な使命に要約されています。

国際バカロレア (IB) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のため、IB は、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IB のプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけていきます。

国際バカロレア機構「国際バカロレア (IB) の教育とは？」より

● IBの学習者像

「IBの学習者像」は、「IBの使命」を10の人物像で具体的に表現したものです。

「IBの学習者像」は、IB認定校およびIB教師にとって最も重要なことは何かを振り返るための指針となるよう、プログラムの中心に位置づけられています。



● 本校でのDPの授業

本校では、IBの4つのプログラムの中で、主に高校生を対象とする2年間のディプロマ・プログラム（DP）を高校2・3年次で行います。DPの授業は、「生徒に理解してほしいこと、身につけてほしいスキル」が何かを考え、それはどのような評価をすれば身についたと判断できるか、そのためにはどんな学習活動をすればよいかを、最初にセットで考えて単元的设计を行います（逆向き設計）。生徒の学習の仕方の多様性を尊重し、評価も多様な形で行われますが、学んだ知識やスキルを実社会で使うのと同様の場面で使えるかどうかを見て評価を行うこともあります（パフォーマンス評価）。



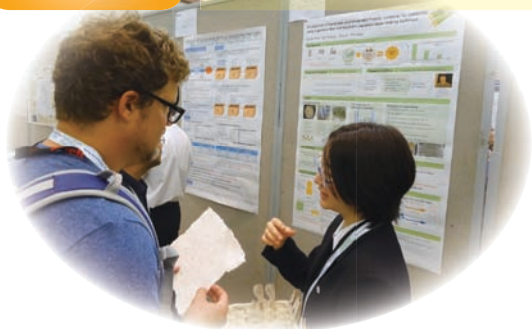
● 本校のIB類型に適した生徒

海外大学
進学希望

海外の大学へ進学し、世界の人々のために貢献したいという高い志をもっている生徒 !!!

探究心
の強さ

授業で疑問に感じたことを、どんどん深く掘り下げて考えることが好きな生徒 !!!



協働的な
学び

自分で調べたり、それをもとに仲間と議論したりすることで理解を深めていくことが得意な生徒 !!!

興味・関心の
広さ・深さ

広く社会や自然に興味があり、新聞や本をたくさん読んでいる生徒 !!!



● 本校で設置するDP科目

〔IB類型理系2年生の時間割例〕

	月	火	水	木	金	土
1	日本語 文学	数学	TOK	歴史	物理	数学
2						
3	物理	物理	英語	化学	日本語 文学	化学
4						
昼休み						
5	歴史	体育	保健	体育	数学	
6		化学	CAS	CAS		
7	英語		LHR		英語	

はIBの科目

赤字は、授業が英語で行われる科目

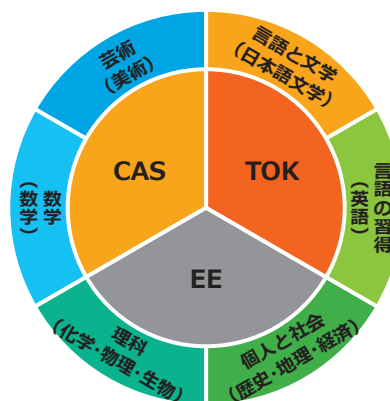
DPの授業は原則2コマ連続で実施

2・3年次は隔週土曜日は午前授業を実施

「類型」とは、目的や進路希望に合わせて作られた科目群のこと

〔DPの科目〕

6つの教科群（外円）と3つのコア科目（内円）



SL
(standard level)

150時間/2年間

HL
(higher level)

240時間/2年間

〔コア科目〕

TOK (Theory of Knowledge) 【知の理論】

「知識に関する問い」を立て、我々が「知る」ということがどうということなのか探究する。現実社会の事例を批判的思考によって分析し、新しいものの見方や考え方ができるようにする。

CAS (Creativity, Activity, Service) 【創造性 / 活動 / 奉仕】

創造的な思考を伴う芸術的な活動、健康的なライフスタイルのために行う身体的活動、無報酬で行う奉仕活動といった3つの活動を体験する。活動は自分たちで計画し、振り返りを行うことを重要視している。

EE (Extended Essay) 【課題論文】

6つの教科群の中から1つ探究領域を決めて、個人研究を行う。英語で実施している教科の場合は4,000語（日本語の場合は8,000字）の論文にまとめる。

● IB類型の3年間の予定



● Q & A

Q1 IB類型に進んでも、日本の高校の卒業資格は取れますか？

A1 IB類型の科目を日本の学習指導要領上の科目に読み替えるなどして、本校の他の生徒同様に仙台二華高校を卒業できます。

Q2 IB類型に進むのに特別な試験を受ける必要がありますか？

A2 特別な試験を受ける必要はありません。入学後の約半年間の体験授業やキャリアカウンセリングを通して、本人の進路希望と適性を考えて10月頃に選考されます。

Q3 IB類型に進むことで必要経費はどれくらいかかるのでしょうか？

A3 特別な授業料はかかりませんが、2・3年次の2年間で教材費や諸経費として30～50万円ほどかかる見込みです。パソコンやプログラム電卓は学校で指定したものを購入してもらうことになります。

Q4 IB類型に進んでも、部活動や行事、委員会などに参加できますか？

A4 参加することはできますが、課題が多くなったり土曜日に授業が入ったりするために、全く同じような活動はできなくなるかもしれません。顧問の先生と相談してください。

Q5 英語での授業があるようですが、英語力が心配です。

A5 英語で実施する科目は日本人と外国人のチームティーチングで実施しますので、理解できないときには日本語で質問することができます。しかし、試験は全て英語で行われますし、課題や連絡の多くは英語で行われますので、個人の継続的な努力も必要です。

Q6 IB類型に進むと海外の大学しか受験できないのでしょうか？

A6 国内の大学もAO入試や推薦入試、国際バカロレア入試などでの入学は可能です。ただし、通常の高校のように大学受験に向けた学習内容を網羅するような授業は行いません。